

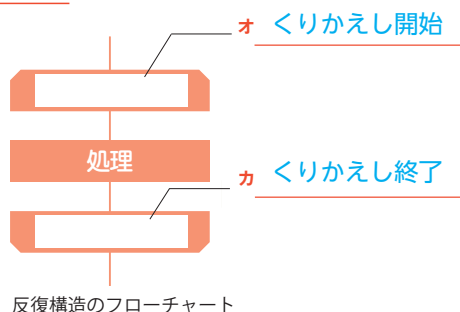
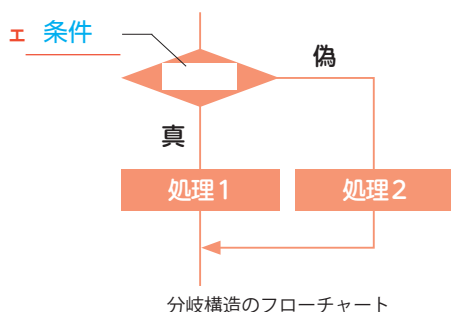
Point

教 p.104~105 38-A 分岐構造

- ある条件に基づいて実行する内容をかえる記述を **ア 分岐構造** という。条件の判定は、条件式を用いる。ある条件にあっている場合と、あっていない場合とで、実行する命令をかえる記述を **イ 条件分岐式** という。

教 p.105 38-B 反復構造

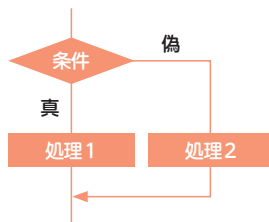
- 何回もくりかえす処理を実行する記述を **ウ 反復構造** という。



◆1 分岐構造と条件式

次の(1)~(5)の処理を分岐構造のフローチャートで表す場合、図の条件として適切なものを、下の(ア)~(カ)の選択肢から選べ。同じものを何度選んでもよい。

- (1) a が b より大きい場合、処理1を行う。
 (2) a が b 以上の場合、処理1を行う。
 (3) a が b より大きい場合、処理2を行う。
 (4) a と b が等しい場合、処理2を行う。
 (5) a と b が等しくない場合、処理1を行う。



1

- | | |
|-----|---|
| (1) | ア |
| (2) | イ |
| (3) | エ |
| (4) | カ |
| (5) | カ |

選択肢

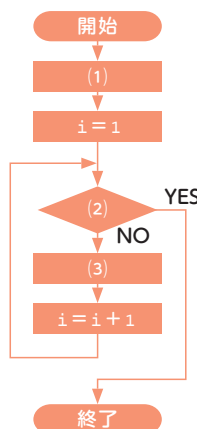
- (ア) a は b より大きい (イ) a は b 以上である
 (ウ) a は b より小さい (エ) a は b 以下である
 (オ) a と b は等しい (カ) a は b と等しくない

2 反復構造のフローチャート

右のフローチャートは1から10までの合計を求め、その計算結果を変数 x として出力する処理を表している。図の(1)～(3)に適するものを、次の(ア)～(コ)の選択肢から選べ。なお、演算子の「 $=$ 」は代入を表し、「 $==$ 」は等しいことを表す。

選択肢

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (ア) $i > 10$ | (イ) $i == 10$ |
| (ウ) $i < 10$ | (エ) $x = x + i$ |
| (オ) $x + i = x$ | (カ) $x = x + 1$ |
| (キ) $x + 1 = x$ | (ク) $x = 0$ |
| (ケ) $x = 1$ | (コ) $x = i$ |



2

- | | |
|-----|---|
| (1) | ク |
| (2) | ア |
| (3) | エ |

Hint

(2) には、くりかえしを終了する条件が入る。

3 反復構造のプログラム

次のプログラムについて、次の問いに答えよ。

```

(01) goukei = 0, x = 1
(02) x <= 10 の間くりかえす：
(03)     goukei = goukei + x
(04)     x = x + 1
(05) 表示する(goukei)
    
```

3

- | | |
|-----|----|
| (1) | 6 |
| (2) | 55 |

補足

「 \leq 」は「以下」を表す比較演算子。

- (04) 行目が3回実行された直後、`goukei` に代入されている値はいくつになるか。
- このプログラムを実行して表示される `goukei` はいくつになるか。



教 p.104 プログラムの作成2(正解の判定)

作成したプログラムに以下の数値を入力したとき、表示された文字を記入しよう。

1を入力 正解

2を入力 不正解

教 p.105 プログラムの作成3(連続する数の表示)

作成したプログラムの「 $i = i + 1$ 」の部分で「 $i = i + 2$ 」にかえて実行し、実行結果として表示された数字を順に記入しよう。

1, 3, 5

MEMO